

開催候補地の選定条件について

- 1 開催候補地選定条件(案)
- 2 開催規模の想定
- 3 参加者の範囲の想定
- 4 開催規模決定の目安

1 開催候補地選定条件(案)

- (1) 復興に向けて県民が力強く歩み続ける姿と国内外からの支援への感謝の気持ちを発信できる会場であること
- (2) 森林の再生を進めるシンボルとなる会場であること
- (3) 必要な植樹場所の確保と土地利用に制約がないこと
(公有地、県有施設等)
- (4) 規模に応じた会場面積や駐車場が確保できること
- (5) 会場整備に多額の費用を要しないこと
- (6) 宿泊場所から式典会場へのアクセスが容易なこと
- (7) 荒天会場が確保できること
- (8) 緊急時の対応及びセキュリティが確保できること

2 開催規模の想定

規模想定に当たって考慮する点

(1) 復興をアピールできる規模・内容

- ・復興に県民が歩み続ける姿と感謝の気持ちを発信
- ・森林の再生を進めるシンボル
- ・復旧・復興の加速

(2) 森林県としての規模

- ・森林面積 : 975千ha (全国4位)
 - ・素材生産量 : 636千m³ (全国8位)
- ※2013年森林・林業統計要覧

(3) 前回開催(S45)の規模

- ・本県開催の参加者(S45) : 約20,000人

(4) 近年先催県の規模

和歌山県 (H23)	式典 関連行事	3,000人 3,500人	計 6,500人
山口県 (H24)	式典 関連行事	13,000人 10,000人	計 23,000人
鳥取県 (H25)	式典 関連行事	7,000人 0人	計 7,000人

本県で想定される規模

式典参加者
11,000人程度

※関連行事参加者を含め25,000人程度

3 参加者の範囲想定

招待者区分		範囲
中央招待者		国土緑化推進機構会長・理事長、農林水産大臣、林野庁長官、日本放送協会会長、知事、開催市町村長等
県外特別招待者		機構役員、国会議員、中央省庁、緑化功労者、団体関係者、被表彰者等
都道府県推薦者		46都道府県
震災支援招待者		支援企業、支援団体、ふくしま応援企業(県外)、県外派遣職員等
県内招待者	特別招待者	県緑化功労者、緑化協力団体等
	学校	小学校、中学校、高等学校
	県・市町村	県会議員、市町村長、市町村議会議員、実行委員会
	関係団体等	農林水産関係団体等
	協力企業	協賛企業、企業の森林づくり参加企業、ふくしま応援企業(県内)
	森林ボランティア等	森林ボランティア団体、農林水産関連NPO
	公募	
協力員		

4 開催規模決定の目安

(1) 植樹会場

- 招待者用、関連行事植樹者用 ※植樹会場は分散可能
- 苗木 山地植栽3,000本/ha、海岸林10,000本/ha

(2) 土地の所有

- 会場整備や記念植樹(お手植え)の保存、植樹祭後の管理を考慮し、公有地もしくは県有施設等

(3) 駐車場

- 駐車スペース 3.0ha程度：乗用車1台約25m²、大型バス1台約70m²

(4) 交通

- お泊まり所からの移動時間：原則40分以内、最大60分程度
※60分を超える場合は休憩場所を設置

- 参加者の宿泊場所からの移動時間：60分程度、最大90分程度

(5) 式典会場面積

- 1人分のスペース約1.8m²

(6) 荒天会場

- 宿泊施設からのアクセス等を考慮し設定